原著論文

推意前提と推意帰結から「面白み」を生み出すアプローチ — 米中シットコムを例にした比較分析 —

吉松 孝

九州大学大学院

Consideration of Laugh Track Insertion Points using the Concepts of “Implicature Premise” and “Implicature Consequence” — Comparative Analysis of U.S.-China Sitcoms —

Takashi YOSHIMATSU

Graduate School of Kyushu University, 4-9-1 Shiobaru, Fukuoka-shi, Fukuoka 815-8540, Japan

Abstract : Focusing on the part where the laugh track is inserted from the highly representative sitcom of the United States and China, the common points between the United States and China regarding the point of laughter caused by “decoding the meaning of utterance” Differences are analyzed and considered. Use of “decoding the meaning of utterances” in the major classification items was found to be about 6 points higher in the United States. In the United States, it is a sub-category, “pride”, “unnatural metaphors and examples”, “explicit interpretation of what should be inferred”, “gap between real intention and tatemaie”, “roundabout paraphrase”, “strange paraphrase”. In China, “pointing out the reality”, “detour”, “expanded interpretation” and “meaning is mediocre, implicature is dirty” were higher. The concept of “implicature premise”, “implicature consequence” of the relevance theory could be applied to the analysis of the insertion of the laugh track in “decoding the meaning of the utterance”.

Keywords : *Sitcom, Laugh track, Utterance*

1. はじめに

シットコムの舞台設定はリビングルームや教室といった限られた空間が多く、固定されたカメラを使用し、登場人物の会話を効果的に組み合わせ、笑い（ラフ・トラック）の挿入ポイントを高い頻度で作っていくものである。シットコムの会話の組み合わせの中で、発せられた言葉と実際に解釈される間の意味との間に乖離があり、その乖離が埋め合わされる（意味を解説させる）ことによって面白みに変わり、そのポイントにラフ・トラックが挿入されているケースが少なくない。シットコムの一連のプロセス（プロットを組み、ラフ・トラックを計画的に挿入し、笑いを設計していく工程）は、感性工学の手法と通じている。日本には定着したシットコム番組がないため、米中シットコムを比較分析することで、ラフ・トラックの挿入の手法を浮き彫りにし、日本におけるシットコム導入の可能性が検討できる。

1.1 シットコムの定義

シットコムは、毎回同じ登場人物で物語が展開していくことや、夫婦、家族、職場などの人々の生活を面白おかしく描くことを特徴としている [1]。技術的には、複数のカメラで同時に撮影した映像を繋ぎ合わせることや、編集時に観客の笑い声を入れるラフ・トラックも特徴となる。Hornby (2015) は、シットコムについて、現代的なキャラクターとストーリーラインをコメディに含めるという、単なるテレビパフォーマンス

ンスのジャンル以上のものとして定義できるとしている [2]。しかし、これらはシットコムの特徴を述べているのみで、シットコムについて定義しているわけではない。そこで、本研究でのシットコムを定義するために、シットコムに関する先行研究、インターネット主力検索サイト「wikipedia」、 「百度百科」 [3]、 「ENCYCLOPÆDIA BRITANNICA」 [4] を参照する。そして、各サイトや事典での記載をまとめると、シットコムの定義として、a) : 固定された空間の中の動きで物語が展開する番組である。b) : ストーリーに連続性がある。c) : 視聴者に面白みを感じさせながら進行する（コメディ性）の3点が挙げられる。

多くのシットコムに見られる「笑い声（ラフ・トラック）の挿入」という要素は、定義としては入っていない。ラフ・トラックの付与に関しては、あくまで、シットコムの番組として効果を高めるためとされ、必要条件とはなっていない。実際にシットコムに分類される番組一覧の中には、ラフ・トラックが付与されていない番組も見られる。したがって、ラフ・トラックはシットコムの必要条件ではなく、重要な特徴の一つという風に位置付けられる。

1.2 既往研究

シットコムに関する既往研究を表1に示す。

Fitriani et al. は、米国シットコム「*the Big Bang Theory*」の発話部分を、語用論的観点から、Searle (1975) [5] の発話行為に関するフレームワークを用いて分析し、シットコムでは、発話行為の assertive (主張), directive (命令), commissive

表1 シットコムに関する既往研究

研究者(発表年)	内容
Fitriani et al. (2020) [6]	米国シットコム「 <i>The Big Bang Theory</i> 」の発話部分を、語用論的観点から、Searle (1975) [4] の発話行為に関するフレームワークを用いて分析した。その中で、発話行為を assertive (主張), directive (命令), commissive (約束), expressive (表出), declarative (宣言) に分け、シットコムでは、declarative 以外の発話がなされることによって、ユーモアとなっていることを示した
苏(2019) [7]	米国「 <i>The Big Bang Theory</i> 」と中国「愛情公寓」の物語構成やキャラクター設定の共通性と差異について分析し、共通性として、型破りな性格のキャラクターの配置や、登場しない謎めいたキャラクターの設定を挙げ、差異として、ストーリー構成において「愛情公寓」は、創造性が欠落していること、キャラクターの設定が薄いことなどを指摘している。
王(2020) [8]	中国シットコム「家有儿女」の発話部分のテキスト分析を行い、Grice (1975) が提唱した「協調の原則」に違反することでユーモアの効果を生み出していることを指摘した。しかし、王の研究は単一の作品を提示しているだけで、比較対象がなく、抽出部分に恣意性も残る。
高木(2017) [9]	米国「 <i>I love Lucy</i> 」(1951-1957) の笑いについて分析し、1950年代の「手錠ギャグ」などに関して、ギャグの諸機能を見出すことで、ギャグが作品構成の中にも組み込まれ、ストーリーを牽引する能動的役割を果たしていることを明らかにした
中村(2018) [10]	笑い(特に「不一致」)を認知する脳の仕組みについて分析した。
茄(2016) [11]	米中のコメディを比較し、「米国では登場人物の心理面、中国では外見の表示に重きがおかれている」といった差異を指摘した。さらに中国では、米国の形式をモデルにし、シットコムが作られるようになったとした
Grandio & Diego (2010) [12]	「 <i>Friends</i> 」(NBC, 1994-2004) におけるスペインのシットコム番組に与えた影響を研究した
賀(2011) [13]	中国コメディ作品の笑いの仕組みを解析した。
张(2019) [14]	中国シットコムと西洋のシットコムとの傾向を比較し、中国は、悲劇を支持することを美学としており、西洋が喜劇に美的価値を置くこととの相違があるとした。
石(2020) [15]	初期の中国シットコムは、主に主人公の家族環境を中心に展開し、家族向け喜劇につながり、大衆文化を中心に密接に発展したとし、イデオロギーの発達と社会の変化を明らかにしてきたとした。また、「愛情公寓」は、米国の「 <i>Friends</i> 」のパターンと生活環境を利用し、笑いのパターンを模倣しているとも指摘した。

(約束), expressive (表出) の発話がなされることによって、ユーモアとなっていることを示した。高木 (2017) は米国「*I love Lucy*」(1951-1957) の笑いについて分析し、1950年代の「手錠ギャグ」などに関して、ギャグの諸機能を見出すことで、ギャグが作品構成の中にも組み込まれ、ストーリーを牽引する能動的役割を果たしていることを明らかにした。苏 (2019) は、米国「*the Big Bang Theory*」と中国「愛情公寓」の共通性として、型破りな性格のキャラクターの配置や、登場しない謎めいたキャラクターの設定を挙げ、差異として、ストーリー構成において「愛情公寓」は、創造性が欠落していること、キャラクターの設定が薄いことなどを指摘した。一方、これらの先行研究は、シットコムの笑いの作り方どのような共通点や差異があるのかについては述べておらず、面白みを引き起こすための土台となる発話部分の詳細な仕組みについて、更なる研究の余地があると考えられる。

1.3 「発話の意味の解説」とは

それでは、本稿の主題である「発話の意味の解説」という要因で説明できるシットコムのテキストとはどのようなものかについて、具体的に米中シットコムのテキストから示す。

はじめは、米国シットコム「*the Big Bang Theory*」のエピソード1-12 [16] で、Leonard と Sheldon が、北朝鮮出身の Dennis Kim に大学の校内を案内しているシーンである(以降、(Ln) の L はラフ・トラックの挿入箇所、n は指定シーン内におけるラフ・トラックの順番を示すものとする)。

【1】 Leonard : So, Dennis, how long have you been in America. (米国に来て何年?)

Dennis : A year and a half. (1年半)

Leonard : No kidding, you speak English really well. (英語が流暢だ)

Dennis : So do you. (L₁) Except for your tendency to end sentences with prepositions. (君もね、疑問形が多いのが難点だけど)

Leonard : What are you talking about? (L₂) (どういう意味?)

Dennis : That. (ほらね)

Sheldon : He's not wrong. (L₃) (たしかに)

このシーンでは、3箇所ですラフ・トラックが挿入されている。(L₁) でレナードはアメリカ人(という設定)だが、Dennis Kim からは米国以外の国民に見えて、勘違いを起こしているという「決めつけとその勘違い」(筆者は過去の研究において「A15」に分類している)であり、(L₂) は、「どういう意味?」とは単なる疑問ではなく、言われたことへの不快感を含んでいる。文字通りに解釈すれば聞いているだけだが、不快感が推測できるという「好戦的な問いかけ」(3.3 節で後述するが、筆者は「D4」に分類している)、(L₃) は、疑問形が多いのが難点を言っているデニスに対し、どういう意味? と疑問形で聞いている Leonard の様子に、Dennis と Sheldon が、疑問形が多いことを指摘しており、「奇妙な現実やミスの指摘」(筆者は過去の研究において「D11」に分類していることを3.3 節で後述する)が、ラフ・トラック挿入ポイントの性質である。ここでは、(L₂) と (L₃) が、大分類としての「発話の意味の解説」という要因で説明できる。つづいて、中国シットコム「愛情公寓」のエピソード1-3 [17] から、小賢が、一菲が他人の家のゴミ箱をあさっている習慣を見つけて、一菲に問うシーンから示す。

【2】 小賢:你有没有翻过我的垃圾桶? (私のゴミ箱もあさっているのか?)

一菲:最近没有. (L₁) (最近はしてない)

(L₁) では、「私のゴミ箱もあさっているのか?」と聞かれ「最近はない」と答える。「最近」をつけることによって「(最近はないが、) これまではあさっていた」と推測が成り立ち、ラフ・トラックの挿入ポイントとなっている。

この「発話の意味の解説」の性質によるラフ・トラック挿入は、言語学分野の語用論の領域にある関連性理論と結びつけられる。語用論は主に2つの立場があり、社会語用論(1989) [18] と、関連性理論(1995) [19] に分けられる。その中で、関連性理論は、発話は聞き手の解釈に委ねられており、我々は、聞き手の解釈に委ねられているという前提で発話を行っているという理論である。言語伝達は、話し手が単にものを行っているというのではなく、誰かに何かを言っているのだと聞き手に

推意前提と推意帰結から「面白み」を生み出すアプローチ

より認識されるときに始まる。ラフ・トラックの挿入に関しては、文字通りの意味を「表意」とし、推測される意味を「推意」とする言語学分野の関連性理論を用いて分析することが可能であると考えられる。シットコムは発話の組み合わせを基調としており、関連性理論の表意と推意という概念を使うことで、そのテキストを具体的に説明できるのではないかと考えた。

2. 目的

以上の背景から、本研究は、米中シットコムの中で、「発話の意味の解釈」によって発生する笑いのポイントに関して、どのような共通性と差異があるのかを明らかにし、その具体的な内容について考察することを目的とする。

3. 方法

3.1 調査の流れ

研究の方法は以下の通りである。方法のプロセスを表2に、分析対象作品と対象エピソードを表3に示す。

各シットコムのスクリプトと、各シーンの設定や出演者の動作というレベルにも着眼して分類と基準を示す。米中シットコムを、ラフ・トラックが挿入されているポイントの性質に基づき分類、分析を行う過程において、筆者は、ラフ・トラック挿入ポイントをL.I.P (Laugh-track Insertion Point) という略称を設定した。

分類するにあたって、一つの笑いに対し複数の要因が混在して笑いが発生していると考えられる箇所もあるが、その場合は、より強く作用していると判断できる要因を選択し、適用した。

3.2 分析に使用する大分類項目と評価基準

筆者はこれまでの研究 (2019-2021) [20] の中で、テキスト分析を行い、対象作品の対象エピソードに関して、ラフ・トラックの生成要因に関する分類を設定した。分類項目は(A) から (H) とし、分類の基準は表4のように設定した。

(A) には、視聴者や社会が一般的に想定するものとは違うような行動、(B) には、シットコムが持つ虚構性をベースにした場面の当事者間では判明しようがないが、視聴者が持つ俯瞰性によって気づく、判明する性質のシーン、(C) には、緩やかなムードが、急に緊張感を帯びたり、緊張ムードが急に緩やかになったりする状態の変化を指す、(D) には、会話としての構成によって起きる発話、発話の意味の解釈を分類した、(E) は、発音されるべきところと違う発音のされ方や声真似など、言語や音声を要因として起こる発話を分類した。(E) も、一般的な想定とそのシーンにおいて実際に起きたことのズレを要因としたものであるが、(A) は動作レベルで、(E) は言語レベルとする。(F) は、もともとの(先天的な) 違いを嘲笑し、優越性を根拠とした行動を分類した。(G) は、カットの変化や状況が変化することによって笑いの発生ポイントとなるシーンを分類した。俯瞰性を持つ点では (B) とも共通するが、(G) はシーンの内容よりも、シナリオや編集によってシーンが意図的に動かされたりするポイントを指す。(H) は、(A) から (G) のいずれにも該当しない要因をその他として振り分けた。

3.3 分析に使用する大分類項目と評価基準

前節では、ラフ・トラック挿入の性質に関して分類を示したが、分類の過程で、さらに細かく分類できる余地があり、

表2 研究のプロセス

プロセス	方法の内容
番組選定	分析対象として、米国と中国で、放送範囲(放送局)、持続性(エピソード数)、受賞歴から、視聴者に浸透しサンプルとしての代表性が高いと想定されるシットコムを選定する(選定したのは「the Big Bang Theory」「Friends」「Full House」「爱情公寓」「我爱我家」「家有儿女」)。
テキスト書き起こし	「the Big Bang Theory」「Friends」「Full House」「爱情公寓」「我爱我家」「家有儿女」の第1話から2話分のテキストを書き起こす(「the Big Bang Theory」のみ4話分を書き起こした。当初は「the Big Bang Theory」と「爱情公寓」の比較をする予定であり、放送時間を揃えるため、「the Big Bang Theory」4話と「爱情公寓」2話としていたが、後に、作品数を増やしたため、「the Big Bang Theory」のみ4話とした)。
訳の付記	米国の番組は英語のスクリプトと必要に応じて日本語訳(hulu)を付記し、中国の番組は、中国語スクリプトと必要に応じて日本語訳(筆者が作成)を付記する。
ラフ・トラック位置抽出	そのテキスト内に、挿入されたラフ・トラックの位置を抽出する。
大分類の設定	笑いに関する先行研究、笑いを構築する理論を参照しながら大分類を定める。テキスト分析を行うことで、各大分類に対し詳細な小分類を規定する。
振り分け	ラフ・トラックが挿入されているそれぞれの箇所に対して、どのような理由でラフ・トラックが挿入されているのかを小分類に沿って判断し、振り分ける(一つの笑いに対し、複数の要因が重複していると考えられる場合は、関与が強いと考えられる要因に組み入れる)。
ラフ・トラックのカウント	分類されたラフ・トラックの小分類を番組ごとにカウントする。大分類の比率、小分類の数値と比率を、番組ごと、国ごとの角度から見る。
分析、考察	発話部分のテキスト内から、ラフ・トラックの挿入がどういった部分で成されているかに着眼し、米中間での共通点や差異を分析し考察を行う。恣意性を避けるために、各番組の第1エピソードの大分類の最初と最後に出てきたところをピックアップする。

表3 分析対象作品と受賞歴、対象エピソード

番組名	主な放送局	放送時期	エピソード数	主な受賞歴	分析対象エピソード
the Big Bang Theory	CBS	2007-2019	279	2010, Jim Parsons won a Primetime Emmy Award for Outstanding Lead Actor in a Comedy Series. 2013, People's Choice Award for Favorite Comedy. etc.	1-1.,1-2.1-3.,1-4
Friends	NBC	1994-2004	236	Primetime Emmy Award for Outstanding Comedy Series in 2002, receiving nominations in 1995, 1996, 1999, 2000, and 2003. etc.	1-1.1-2.
Full House	ABC	1987-1995	192	1990, Young Artist Awards Best Family Television Series Nominated, 1991 Best Young Actress Starring in a Television Series. etc)	1-1.1-2.
爱情公寓	江西卫视等	2009-2020	124	2012, 国剧盛典网络最受欢迎电视剧(爱情公寓3) 2014, 国剧盛典十佳电视剧第七名(爱情公寓4) etc.	1-1.1-2.
我爱我家	深圳电视台等	1994,2010	206	2019, 新时代国际电视节全国十佳电视剧	第1集上、下
家有儿女	北京电视台	2005-2007	367	2007, 中国电视剧飞天奖少儿电视剧一等奖。2008, 金鹰节最佳少儿电视剧奖	1-1.1-2.

細かい分類が、米中シットコムの性質の共通性と差異を把握できる材料になるのではないかと考えた。そこで、前節で設定した分類を大分類と称し、各大分類に対して、詳細な小分類を設定した。方法は、大分類の設定時と同様である。

表4 シットコムの笑い挿入箇所の性質と分類基準

分類記号	性質	分類基準
A	未熟性とのギャップ	大人が本来取るべき行動ではない(想定と一致しない)幼稚な行動や人間としての未熟性によって引き起こされるミスなどが含まれる。行動レベルによって起きる笑いの発生ポイントを指す。
B	実在と虚構の混在	場面の当事者間では虚言や過ちが判明しようがないが、視聴者が持つ俯瞰性によって気づいたり、判明したりする。ウソ(妄想, 空想, 仮定)を土台にした「本当」の積み上げ。「本当」を前提にしたウソ(妄想, 仮定, 虚構, フィクション)の積み上げにより作られる。
C	エネルギーの移行	場面の空気感や状態が変化することによって起きる笑いのタイミングを指す。緊張から緩和がエネルギー理論における一般的な方向性だが「気まずさ」「警察ザタ」「食物アレルギー」「高価なものの紛失」のような緩和から緊張への方向性も含まれる。
D	発話の意味の解説	会話の構成、発話の組み合わせによって起きる。発話者と聴き手の解釈のズレによって引き起こされるもの。
E	正当な発声、発音とのギャップ	発音されるべきところと違う発音のされ方や声真似など、声の出し方や発し方を要因として起こる。言語的要因、音韻、音の高低によって発生する。
F	先天的差異、属性差異の再認識	もともとの(先天的な)違いを嘲笑するもので、優越性を根拠とする。優越性の認識を伴ったエスニックや、自文化・他文化の未理解によって起こる笑いの発生タイミングを示す。
G	フレーミングの変化	シーン冒頭に奇妙な動作をしているカットや立場が急に逆転するなど、シーンの変化や状況が変化することによって、笑いのポイントとなる。
H	その他	

大分類(A)の「未熟性とのギャップ」からは、簡単に見破られそうな嘘に騙されている様子や、空気の読めない行動、無垢で悪意のない異常性などの行動が小分類として設定し、大分類(B)の「実在と虚構の混在」からは、世論が持つ正論の代弁、実在人物、キャラクターの会話の話題への挿入など、場面の当事者間では判明しようがないが、視聴者が持つ俯瞰性によって気づく、或いは判明するという笑いの要素を、大分類(C)の「エネルギーの移行」として、態度の豹変や、仕掛け・復讐・計画・悪巧みの情けない失敗など場面の空気感や状態が変化することによって起きる要素を分類した。大分類(D)「発話の意味の解説」では、本音と建前のギャップや、奇妙な現実の指摘など、会話の構成、発話の組み合わせによって起きる要素を分類した。大分類(E)「正当な発声、発音とのギャップ」では、同音異義語・似た音で間違いや音の高低など、発音されるべきところと違う発音のされ方や声真似など、言語や音声を要因として起こる要素を分類した。大分類(F)「先天的差異・属性差異の再認識」では、エスニックや自文化・異文化の未理解により起こる要素を分類し、大分類(G)「フレーミングの変化」では、決めごと・規定路線に対する想定外や、シーンの変化や状況が変化することによって、笑いのポイントとなる要素を分類する。大分類(H)「その他」では、大分類(A)～(G)に当てはまらない演技力由来と映像的効果を振り分けた。詳細を、表5に示す。

表5 ラフ・トラックの挿入ポイントの小分類と内容

大分類記号	小分類記号	内容	小分類記号	内容
A	A1	容易に見抜けることに騙されている様子	A2	空気の読めなさ
	A3	無垢で悪意のない異常性	A4	できない注文にできると言う無謀さ
	A5	妙なこだわり	A6	約束に対する抜けがけ
	A7	嫉妬心を大げさに掻き立てる	A8	大声での怒鳴り
	A9	一心不乱な動作	A10	奇妙な服装
	A11	不適切な時間帯に行動	A12	ケチな振る舞い
	A13	頭の悪さ、常識の無さ	A14	動作の異常な速さや遅さ、繰り返し
	A15	決めつけとその勘違い(誤った決め付け)	A16	下心
	A17	ミスの発生やミスを認める行為	A18	融通の利かなさ
	A19	子供の子供らしくない振る舞いや意見		
B	B1a	世論とされることの代弁	B1b	実在しているものの会話の話題への挿入
	B2	発話内の自己矛盾	B3	大げさ
	B4	奇妙なこだわりを正当化する論理性	B5	虚構に関する真剣な議論
	B6	新知識に由来した複雑な説明	B7	夢や空想だと判明
	B8	ウソを吹き込まれて、本気になる行為	B9	ウソやミスに、さらにウソを重ねる行為
	B10	ウソがばれての水の泡	B11	奇妙な提案
	B12	安易なウソ	B13	作戦の成功
C	C1	かつらの落下	C2	態度の急激な和らぎ
	C3	酒に酔って崩れていく様子	C4	仕掛け、復讐、悪だくみの失敗
	C5	奇妙な動作	C6	話題がなく沈黙
	C7	食物アレルギーによる顔の変形	C8	高価なものの紛失
	C9	警察沙汰になり、その後の展開	C10	予想外にまじめな反応、惨劇、激的な反応
	C11	顛末の省略		
D	D1	聞き手の勘違い	D2	拡大解釈
	D3	自慢	D4	好戦的な問いかけ
	D5	汎用性の高い答え	D6	不自然な比喩や例示
	D7	推意すべきところの表意での解釈	D8	表意は平凡、推意は卑猥
	D9	本音と建前のギャップ	D10	回りくどい言い換え
	D11	奇妙な現実やミスの指摘	D12	遠回り
	D13	嫌悪感の表示		
E	E1	韻の発生	E2	早口言葉
	E3	同音異義語や似た音での聞き違い	E4	モノマネ
	E5	音の高低	E6	インパクトのあるワード
F	F1	エスニック	F2	障害者や病気に関する表現
	F3	自文化、異文化の未理解による失敗		
G	G1	決めごとに対する想定外の事態	G2	シーン冒頭の唐突で奇妙な動作
	G3	唐突な話題の挿入や転換	G4	立場の逆転、変化
H	H1	演技力由来	H2	映像的効果

表6 大分類 (D) のさらに詳細な小分類

小分類項目	大分類 (D) の小分類項目の内容
D1: 聞き手の勘違い	言葉足らず、或いは、解釈の際にミスや誤解が生じ、聞き手の勘違いが起きる。
D2: 拡大解釈	表意を勝手に大きく推意することで、不必要な拡大解釈を生む。
D3: 自慢	自分の能力や実績を顕示する自慢を指す。愚痴に見せかけた自慢も含まれる。
D4: 好戦的な問いかけ	文法上は疑問形を取っているが、その問いかけに好戦的な態度や相手への攻撃性が示されている。逆説的な問いかけも含まれる。
D5: 汎用性の高い答え	どういう問いに対しても通用するような汎用性の高い答え。汎用性の高い答えは、会話内では便利である。
D6: 不自然な比喻や例示	状況に適していない比喻や例示が用いられている。
D7: 推意すべきところの表意での解釈	視聴者は推意して受け取るが、登場人物の聞き手は表意で受け取る。
D8: 表意は平凡、推意は卑猥	表向きは卑猥な表現をしていないが、視聴者の推意で卑猥な解釈をさせようとしている。
D9: 本音と建前のギャップ	発話上の本音と建前のギャップが乖離している。
D10: 回りくどい言い換え	発話の説明が回りくどい言い換えとなっている。回りくどい言い換えることで、聞き手にスムーズに伝わりにくくなる。
D11: 奇妙な現実やミスの指摘	奇妙な現実やミスが、登場人物の発話によって指摘される。発話によって、推意前提を提示し、視聴者に面白みを伝えようとすることもある。
D12: 遠回り	普通の結論にスムーズに到達せず、別のステップを踏んで遠回りする。(D10)と類似しているが、(D10)は発話による言い回し、(D12)は事のの流れのステップに重点を置く。
D13: 嫌悪感の表示	喧嘩や陰湿な雰囲気の中で、出演キャスト同士で発話や表情により嫌悪感が示される。

小分類は合計で72項目に及び、作成した小分類は以下のようになった。小分類は、D11, A17のように、大分類を示す(A) - (H)の後に数字を加えた。

その中で、本論文で焦点を当てる大分類(D)「発話の意味の解説」は、発話の組み合わせに由来し、発話者と聞き手の解釈のズレによって引き起こされる要素を設定した。その中で、本稿では、事前の分類過程で提示した大分類(D)「発話の意味の解説」からさらに細分化した小分類項目を用いる。表6に、大分類(D)のさらに詳細な小分類を示す。

4. 結果

データ分析の結果は表7の通りである。大分類(D)「発話の意味の解説」から、さらに小分類した項目を示す。米国と中国で0.5ポイント以上離れた項目は太枠で囲んだ。

表7 小分類の内容と米中の割合

	要因(小分類)	米国		中国	
D1	聞き手の勘違い	10	0.8%	5	0.5%
D2	拡大解釈	3	0.2%	12	1.2%
D3	自慢	9	0.7%	1	0.1%
D4	好戦的な問いかけ	24	1.9%	21	2.1%
D5	汎用性の高い答え	22	1.8%	15	1.5%
D6	不自然な比喻や例示	54	4.3%	37	3.8%
D7	推意すべきところを表意での解釈	12	1.0%	3	0.3%
D8	表意は平凡、推意はdirty	6	0.5%	11	1.1%
D9	本音と建前のギャップ	42	3.3%	4	0.4%
D10	回りくどい言い換え	78	6.2%	43	4.3%
D11	奇妙な現実の指摘	178	14.2%	119	11.9%
D12	遠回り	28	2.2%	17	1.7%
D13	嫌悪感の表示	10	0.8%	26	2.6%
		476	38.1%	314	31.5%

5. 分析

5.1 データ分析

大分類「発話の意味の解説」を用いたL.I.Pの回数(ラフ・トラック挿入の生成)は、米国シットコムが中国シットコムより、約6ポイント上回っていることが分かった。小分類では、米国で、(D3)「自慢」、(D6)「不自然な比喻や例示」、(D7)「推意すべきところを表意での解釈」、(D9)「本音と建前のギャップ」、(D10)「回りくどい言い換え」、(D11)「奇妙な現実の指摘」、(D12)「遠回り」が中国を0.5ポイント以上上回り、中国で、(D2)「拡大解釈」、(D8)「表意は平凡、推意はdirty」、(D13)「嫌悪感の表示」が、米国を0.5ポイント上回った。

5.2 テキスト分析

テキスト分析として、各番組の第1エピソードの大分類(D)の最初と最後に出てきたところをピックアップし、計12箇所についてシーン番号1-12とした。大分類(D)に関連する小分類項目に下線を付けた。テキストの後に、各L.I.Pの要因を示す。表8から表19(シーン番号1-12)まででテキストを示し、筆者の解釈を加える。

シーン番号1(「the Big Bang Theory」1-1)は、レナードとシェルドンが、精子提供バンクの受付にやってきた場面で、テキストと適用した小分類に筆者の解釈を付記し、表8に示す。

シーン番号2(「the Big Bang Theory」1-1)は、食事に向かうとする車中で、Penny, Howard, Sheldonが向かう先について話をしている場面で、テキストと適用した小分類を表9に示す。

シーン番号3(「Friends」1-1) [21] は、カフェで、Monica, Joey, Chandler, Phoebeが、Monicaの恋愛について話している場面で、テキストと適用した小分類を表10に示す。

表8 シーン番号1のテキストと適用した小分類

話者	セリフ	小分類と筆者の解釈
Receptionist	Can I help you? (どうしました?)	
Leonard	Yes. Um, is this the High IQ sperm bank? (L ₁) (IQが高い人用の精子バンクはここ?)	(L ₁): A5「妙なこだわり」
Receptionist	If you have to ask, maybe you shouldn't be here. (L ₂) (IQが高けりゃ分かる)	(L ₂): D10「回りくどい言い換え」。IQが高けりゃ分かる(もし聞かなければならないのであれば、ここにいるべきではない) → IQが低いだろ。Receptionistからの「皮肉」。[それが分からないくらいだからIQは低い]が推意。
Sheldon	I think this is the place. (L ₃) (ここで合ってる)	(L ₃): C11「顛末の省略」
Receptionist	Fill these out. (記入して)	
Leonard	Thank-you. We'll be right back. (どうも。すぐ書くよ)	
Receptionist	Oh, take your time. (L ₄) I'll just finish my crossword puzzle. Oh wait. (L ₅) (パズル解くからごゆっくり。無理そうね)	(L ₄): D9「本音と建前のギャップ」。受付係も皮肉を使って押取している。 (L ₅): D11「奇妙な現実やミスの指摘」。おかげでパズルが解けなくなったという皮肉を込めている。

シーン番号4 (「*Friends*」1-1) は、カフェで、Monica, Joey, Chandler, Phoebeが、話をしながら盛り上がっている場面で、テキストと適用した小分類を表11に示す。

シーン番号5 (「*Full House*」1-1) [22] は、孫たちの世話に來ていたClaireが自分の家に帰ろうとするが、孫たちに引き留められ、名残惜しい気持ちになる場面で、孫たちの父親で、Claireの息子であるDannyが、Claireを自分の家

表9 シーン番号2のテキストと適用した小分類

話者	セリフ	小分類と筆者の解釈
Penny	Any ideas Raj? (ラージは何も話さない) (L ₁) (何を食べたい?)	(L ₁): C6「沈黙」
Howard	Turn left on Lake Street and head up to Colorado. I know a wonderful little sushi bar that has karaoke. (レイク通りで左折だ。カラオケ付きの寿司バーがある)	
Penny	That sounds like fun. (楽しそうね)	
Howard	(歌う) Baby, baby don't get hooked on me. Uh, baby, baby don't get hooked on me. (L ₂) (ベイベー、ベイベー、俺に惚れるなよ。ベイベー、ベイベー、俺に惚れるなよ。)	(L ₂): A9「一心不乱な動作」
Sheldon	I don't know what your odds are in the world as a whole, but as far as the population of this car goes, you're a veritable Mack Daddy. (世間的には違っても、この車内では君が一番のモテ男だ) (L ₃)	(L ₃): D11「奇妙な現実やミスの指摘」, Mack Daddyという比喩を用いているものの、ここでは、消去法的にレナードが一番もてるだろう(他の男達がひどいレベルである)ということを指摘している。

表10 シーン番号3のテキストと適用した小分類

話者	セリフ	小分類と筆者の解釈
Monica	There's nothing to tell! He's just some guy I work with! (普通の男よ。職場の同僚なの。)	
Joey	C'mon, you're going out with the guy! There's gotta be something wrong with him! (L ₁) (モニカとデートするなんて異常だよ)	(L ₁): D10「回りくどい言い換え」, Monicaをバカにしている。
Chandler	All right Joey, be nice. So does he have a hump? A hump and a hairpiece? (L ₂) (そいつ変態だろ?)	(L ₂): D6「不自然な比喩や例示」, 疑問形であり、D4「好戦的な問いかけ」の要素もあるが、比喩的な要素の方が強いことから、D6に振り分けた。
Phoebe	Wait, does he eat chalk? (L ₃) (チョーク食べる?)	(L ₃): A3「無垢で悪意のない異常性」

表11 シーン番号4のテキストと適用した小分類

話者	セリフ	小分類と筆者の解釈
Joey	I can't believe what I'm hearing here. (それ冗談だろ?)	
Phoebe	(歌う) I can't believe what I'm hearing here...	
Monica	What? I-I said you had a-(でも私は...) (L ₁)	(L ₁): A2「空気の読めなさ」.
Phoebe	(歌う) What I said you had...	
Monica	(to Phoebe) Would you stop? (やめて)	
Phoebe	Oh, was I doing it again?(また歌ってた?)	
All	Yes! (L ₂)	(L ₂): D11「奇妙な現実やミスの指摘」, 全員が肯定し、Phoebeの奇妙な行動を指摘している。

に帰そうとするところのテキストを、適用した小分類と解釈とともに表12に示す。

シーン番号6 (「*Full House*」1-1) は、父親のDannyと、娘のStephanie, DJが喧嘩をしていたが、仲直りする場面で、テキストと適用した小分類を表13に示す。

シーン番号7 (「愛情公寓」1-1) は、空港から市内へ向かうバスに展博が乗ろうとし、バス乗り口の電子マネーのタッチの仕方が分からず、運転手が腹を立てて呟く場面で、テキストと適用した小分類を表14に示す。

シーン番号8 (「愛情公寓」1-1) は、宛瑜のテイクアウトのオーダーの電話注文の奇妙さを、小賢が指摘している場面で、テキストと適用した小分類を表15に示す。

シーン番号9 (「我爱我家」1-1) [23]: リビングで、登場人物一同がテレビを見ながら食事をしている場面で、テキストと適用した小分類を表16に示す。

表12 シーン番号5のテキストと適用した小分類

話者	セリフ	小分類と筆者の解釈
Claire	Oh, you know, Danny, I don't have to go back home. (L ₁) (別に帰らなくてもいいのよ)	(L ₁): G1「決めごとに対する想定外の事態」
Danny	Mom, this isn't how we rehearsed this last night. (L ₂) Let's take a little walk, okay. Now, you know as well as I do that. (ゆうべの打ち合わせとは違うな。少し歩こう。分かっていると思うけど) (子供が盗み聞きをしようとして、バレた) (L ₃)	(L ₂): D11「奇妙な現実やミスの指摘」, リハーサルをしていたことがバレた。推意前提を読み取らせている。(L ₃): C4「仕掛け、復讐、悪巧みの失敗」
Danny	Mom look it's time to go home. You've been taking care of us ever since Pamela died. I don't know how we'd have made it the past three months without you. But Dad needs you too. You remember Dad, don't you? Your husband? (L ₄) (ママ、頼むよ、パメラが死んでからずっと世話になった。3ヶ月間助かったよ。でもパパは? ママの夫だよ。覚えている? 髪が薄くて、メガネで。大丈夫? 夫のこと?)	(L ₄): D4「好戦的な問いかけ」, 自分の旦那のことを忘れてないか? と聞いている。記憶力低下の可能性を指摘している。

表13 シーン番号6のテキストと適用した小分類

話者	セリフ	小分類と筆者の解釈
Stephanie	You got me, too. (私もいるよ)	
Danny	You got Michelle, and you have your uncle Jesse, and Joey. DJ, we're still a family, and now is when we really need to stick together. DJ, you and I, we go back a long time - ten years. The ten happiest years of my life. So look; it's up to you. Either you move back inside, or all five of us are moving into the garage. (L ₁) But nothing is gonna break up this team. (ミシェルも、ジェシーも、ジョーイもいる。みんな家族だ。こんな時こそ、団結しなきゃ。お前とは長いつきあいだ。10年だぞ。パパはずっと幸せだった。お前が決めてくれ。部屋に戻るか、全員でガレージに住むか。どっちにしろ。家族は一つだ)	(L ₁): B11「奇妙な提案」
DJ	I'll move back in. (部屋に戻る)	
Danny	I love you, angel. You too, little ballerina. (L ₂) (愛してるよ。バレリーナさんも)	(L ₂): D11「奇妙な現実やミスの指摘」, Stephanieがバレリーナの服装をしていることに、Dannyがツッコミを入れている。

表14 シーン番号7のテキストと適用した小分類

話者	セリフ	小分類と筆者の解釈
運転手	要么刷卡, 要么投币, 要么滚蛋, 扭什么扭。(L ₁) (クレジットで払うか、或いは、小銭を出すか、或いは、とっとと出ていくか、一体、何をやってるんだ)	(L ₁): D10「回りくどい言い換え」, 不満を表す運転手が回りくどい言葉で暴言を言っている。言い換えの回りくどさの方を重視し、(D10)に振り分けた。
	(主題歌の映像)	
	(運転中のバス。そのバスが急ブレーキで停車し、展博が頭をぶつける。)(L ₂)	(L ₂): C10「予想外にまじめな反応、惨劇、激烈な反応」。
展博	这么快就到了。(L ₃) (こんなに早く着いたんだ)	(L ₃): D1「聞き手の勘違い」, 展博が、急ブレーキでの停車を目的地への到着と勘違いしている。展博が「急ブレーキを目的地到着と勘違いするほどに頭が悪い」という推意前提が解説できる。
	(他にも空席があるのに、客が展博の隣に乗ってきた)(L ₄)	(L ₄): G1「決めごとに対する想定外の事態」

表15 シーン番号8のテキストと適用した小分類

話者	セリフ	小分類と筆者の解釈
小賢	我很想知道, 她是怎么通过电话然后手势沟通的。(L ₁) (彼女がなぜ、電話で話しているのに、ジャスチャーを使って伝えようとしているのか、その理由を知りたい)	(L ₁): D11「奇妙な現実やミスの指摘」, 小賢が、宛瑜の理にかなわない行動を指摘している。
一菲	我也很想知道。(私も知りたい)	
宛瑜	我们到底是要小包的中包的还是大包的。好吧, 这样吧。先给我们五份土豆泥吧。请问你们的土豆泥。有没有分大罐中罐小罐。小罐是多大? 这么大? 还是这么大? 还是这么大? (L ₂) (スモールサイズとビッグサイズのどちらが必要か…。はい、そうです。まずマッシュポテトを5個ください。マッシュポテトですけれども、大中小のサイズのどれか…。小サイズはどれくらいですか? これくらいですか? それともこれくらい? それともこれくらい?)(大きさを示すジェスチャーをつけながら)	(L ₂): A18「融通の利かなさ」
一菲	我们还是去麻辣烫吧(L ₃) (やっぱり、マラータンに行きましょう)	(L ₃): D11「奇妙な現実やミスの指摘」, 注文するのに手間取っている様子の宛瑜を見て、一菲が代案を提案する。

表16 シーン番号9のテキストと適用した小分類

話者	セリフ	小分類と筆者の解釈
小凡	二哥, 你霸着鸡腿儿你一人吃你能不咸嘛你, 人家一礼拜可才一回一晕腥!(L ₁) 唉唉唉, 动物世界动物世界……(L ₂) (兄さんは一人で鶏の足を食べているけど、一人で食べても味がしないんじゃないの。人が、一週間に一回会うとなればめまいがする。ああ、動物の世界、動物の世界(テレビの番組名))	(L ₁): D11「奇妙な現実やミスの指摘」, 志新の食べ方のおかしさを指摘している。(L ₂): A5「妙なこだわり」
和平	哎哎哎, 咱爸今儿是怎么回事儿? 从单位一回来就打蔫儿, 饭都不吃就楼底下溜达去了这大冷的天儿……(えええ、お父さんはどうしたっていうの。仕事から帰ってくるなりぐったりした様子で、ご飯も食べずに階下へ行って、この寒い日をぶらぶらして…)	
志新	可能是添什么心事了, 唉, 是不是今儿跟单位巧遇哪位中午丧偶的女同志……(L ₃) (何か心に引っ掛かっているものがあるんじゃないの、ひょっとして、職場で昼にあった未亡人の女性のこととか)	(L ₃): D12「遠回り」, あり得もしないヘンな空想を遠回らせて巡らせている。

シーン番号10 (「我爱我家」1-1) は、家具を撤収しにきた作業者達の容赦ない行動に、志新が怒鳴る場面で、テキストと適用した小分類を表17に示す。

シーン番号11 (「家有儿女」1-1) [24] は、夏东海(夫)と刘梅(妻)が将来の家族の計画について話している場面で、テキストと適用した小分類を表18に示す。

シーン番号12 (「家有儿女」1-1): 小雪(娘)が夏东海(父親)に、自分の彼氏を紹介する場面で、テキストと適用した小分類を表19に示す。

表17 シーン番号10のテキストと適用した小分類

話者	セリフ	小分類と筆者の解釈
志新	都给我住手! 这么毁我家。(L ₁) 我跟你们拼啦!(L ₂) (止めてくれ! 私の家を台無しにする気か! 俺はお前らと戦うぞ)	(L ₁): D11「奇妙な現実やミスの指摘」, 家を壊そうとしていると指摘している。(L ₂): C10「予想外にまじめな反応、惨劇、激烈な反応」
	(志新はおたまを持って作業者を追いかけまわしている)(L ₃)	(L ₃): C10「予想外にまじめな反応、惨劇、激烈な反応」
傅老	(大声で叫ぶ) 打电话! 快报警! 110! 110! 我们家遭抢啦!(電話して! 警察に電話してください! 110! 110! 私たちの家は奪われました!)	

表18 シーン番号11のテキストと適用した小分類

話者	セリフ	小分類と筆者の解釈
夏东海	好, 如果是再多一个就更好了。(L ₁) (よし、もう一人多ければいいじゃないか)	(L ₁): G3「唐突な話題の挿入や転換」
刘梅	什么意思啊, 你还想让我再生啊。(L ₂) (どういう意味? また子供を生めというのか?)	(L ₂): D13「嫌悪感の表示」, 「また産め」というのかと文句を言っている。
夏东海	不是, 我不是那意思。我是说啊, 干脆把小雪从她爷爷家也接过来一块住。你想啊。一头羊也是赶, 三头羊也是赶。(L ₃) (いや、そういう意味じゃない。私は、小雪をお爺さんの家から連れて来て一緒に住もうと言っているだけだ。羊は一匹でも三匹でも育てる手間は同じことだ)	(L ₃): D6「不自然な比喻や例示」, 一头羊也是赶, 三头羊也是赶という比喻は人間を動物に例えたもので不自然である。

表19 シーン番号12のテキストと適用した小分類

話者	セリフ	小分類と筆者の解釈
小雪	这位是我的男朋友, 狂野男孩(私の彼氏、ワイルドボーイです)	
狂野男孩	(踊り出す)(L ₁) 我的爱情, 好像一把火, 燃烧了整个沙漠。(L ₂) (私の愛は、火のように砂漠全体を燃やしました)	(L ₁), (L ₂) C5「奇妙な動作」
小雪	怎么都不说话了。(L ₃) 对我的男朋友不满意(なぜ、何も話さないの。私の彼氏が気に入らないの?)	(L ₃): D11「奇妙な現実やミスの指摘」, 小雪が、両親が何も言わないことを指摘している。
	(夫婦二人でヘンな笑い方をしている)(L ₄)	(L ₄): C5「奇妙な動作」

6. 考 察

6.1 関連性理論と本研究との関係

シットコムのテキスト分析に言語学の一分野である関連性理論を採用するのは、シットコムにおける笑いの主な構成要素が「ことば（発話）の組み合わせ」であり、その要素を深く説明できるのが当理論だと考えられるからである。関連性理論はSperber, Wilsonによって提示されたコミュニケーションの理論である[16]。発話者の言葉通りの意味が表意であり、受け手側の解釈される意味が推意で、発話は聞き手の推論の出発点となり、その方向を導く働きをする。言葉を用いたコミュニケーションでは、発話という刺激に基づいて、話し手が何を伝達しようとしているのかについて推論を始める。表意と推意の関連性の大小によって、人の発話解釈の難易度は変わる。発話は、聞き手の解釈に委ねられ、我々は聞き手の解釈に委ねられているという前提で発話を行い、それは受け手の側の推論に基づいている。日常会話では、関連性の高い発話をするのが基本であり、親近感が湧く間柄になってくれば、発話の関連性が低くなる。

関連性理論の表意とは、発話の文字通りの意味を指す。推意は2つの種類に区分され、推意前提は、推意され得る前提で、会話の土台となる背景が推測されることを指し、推意帰結は推意から導き出される後出的な結論を意味する。雨宮(2016)[25]は、言語伝達は、話し手が単にものと言っているというのではなく、ものを言うことによって伝達を行っているというのではなく、誰かに何かを言っているのだと認識されるときに始まるとしている。

シットコムのテキストからは、瞬間的には何が言いたいのか分からない内容を、関連性理論の表意と推意という考え方のフィルターを通すことで解読できる。関連性理論では、何を言っているか聞き手に理解しやすい（推意しやすい）ことを関連性が高いとし、何を言っているか聞き手に理解しにくい（推意しにくい）ことを関連性が低いとする。表意と推意の関連性の高低によって、人の発話解釈の難易度は変わる。関連性が高ければ、発話解釈は容易となり、関連性が低ければ、発話解釈は困難となる。シットコムでは、聞き手の部分を視聴者に置き換えることになるが、関連性が低い発話は、視聴者には分かりにくく、理解できない視聴者に対して排他的ともなるが、解読できた際の面白みは深いことが想定される。

6.2 データ分析からの考察

発話の関連性を使用した笑いの挿入ポイントの作成は、両国のシットコムともに最も多い手法であるということが分かる。米国で割合が高かった(D9)「本音と建前のギャップ」、(D10)「回りくどい言い換え」、(D12)「遠回り」はストレートに言ったり行ったりせず、婉曲的に表現をしようとする試みで、皮肉としての要素も含んでいる。「奇妙な現実」を推意として設定する(D11)も米国に多い。中国で割合が高かったのは、(D2)「拡大解釈」、(D8)「表意は平凡、推意は卑猥」、(D13)「嫌悪感の表示」で、(D2)「拡大解釈」は過剰な反応を指し、いずれも婉曲的

ではなく直接的な表現をしようとする動きである。(D8)「表意は平凡、推意は卑猥」も中国に高い割合で見られ、卑猥な話は遠回しな言い方をしようとする動きであるが、この傾向は表現の規制や、テレビ文化に由来するものと考えられる。(D13)「嫌悪感の表示」は、相手をストレートに攻撃する要素である。

大分類(D)が、米国の方が中国よりも6ポイントも割合が高いことについては、筆者が以前のシットコムに関する研究(2020)でも示した通り[26, 27]、英語(英語圏)と中国語(中華圏)の言語的特性と思考習慣に英語(欧米圏)の論理性が由来していると考えられる。論理的に話が展開する英語は、論理の構築で面白みのタイミングを作ったり、意図的に話の筋道を崩し話題とは全く違う話を差し込むことや発話の応酬の中で面白みを作り上げる傾向が強い。米国には論理性が土台としてあり、それを崩すことによる面白みが発生する余地があると考えられる。一方で、中国は、中国語の表意文字や帰納的思考により、動作を伴うことや設定上でラフ・トラックの挿入ポイントを作る傾向が強く、場面の急な転換、誇張や大袈裟など論理性とは離れた部分で面白みを作る傾向がある。大分類(D)は、特に、発話の「関連性」が基軸になるため、論理性との関係性が高く、米国の挿入ポイントが高いと考えられる。

6.3 テキスト分析からの考察（表意と推意、推意前提、推意帰結）

表意とは、当該発話の想定を確定するために必要な情報を文脈から呼び出して明示し、推意とは、当該発話の想定を当該文脈において解釈するために文脈から必要な情報を呼び出すことで新たに導き出される想定のことを指す。その中で、関連性とは、表意と推意の間の関連度合いを指し、何を言っているか聞き手に分かりやすい（推意しやすい）ことを関連性が高いとし、何を言っているか聞き手に分かりにくい（推意しにくい）ことを関連性が低いという。表意と推意の関連性が高くなるほど、視聴者の発話理解度は高まる。関連性が高ければ視聴者は話の内容を理解しやすいが、感じる面白さは下がる。シットコムの笑いは関連性が低いゾーンで作られ、解読を要するものとなる。ただし、関連性が低すぎると視聴者は話しそのものの意味が理解できなくなる。

関連性理論の中では、推意が、さらに推意前提と推意帰結という2種類の概念に分けられることが示されている[19]。推意前提とは、推意された中で、その前提が想起されるもので、推意帰結とは、推意された結果としてどのようなことが想定されるかが示される。日常会話では、発話によって、相手に「何かさせよう」という意図を含むことが強いことから、推意は推意帰結となる傾向がある。例えば「ご飯を食べた？」と聞けば、推意前提としての「ご飯を食べていないように見える」や「時間的にご飯を食べられなかった」というよりも、推意帰結として「ご飯を作ろうか?」「ご飯を食べに行こう」という未来への示唆という意味合いが強い。図1にそのイメージを示す。

シットコムは日常の会話を再現しているように見えるが、実際にリアルな日常を忠実に再現しているわけではなく、発話で示すことによって、視聴者にイメージさせ、面白みを

推意前提と推意帰結から「面白み」を生み出すアプローチ

図1 推意前提と推意帰結の時制イメージ

生むという手法を取る。推意による面白みの提起は、示唆して何かをさせようとする推意帰結と、過去や現在に至る過去を想像させることによって、奇妙な状況を示す推意前提、どちらにも依らないパターンがある。

6.4 推意帰結か推意前提か

日常生活の会話とシットコムのセリフの差異として、日常会話では、何かをさせようとする動きを解釈させる推意帰結が多いのに対し、シットコムの場合、第三者である視聴者に面白みを感じさせるために、「過去にどうした」「いまこういう状態にある」という風な設定を伝達するための推意前提のパターンも出てくる。推意前提は、実像が存在しなくても、発話によって想起させさえすれば、推意前提となる部分を映像化する必要はない。したがって、突拍子もない前提を推意前提の中に加えることは、面白みに変化させることができるシットコムの特性が発揮される。その中で、小分類項目として最も使用される (D11)「奇妙な現実やミスの指摘」は、いわゆるツッコミの要素とも言える。表20に、5.2節のテキスト分析で使用した部分から、推意部分がどう読み解けるかを示す。

表20 推意前提か推意帰結か

シーン	推意前提か推意帰結か
1	Receptionist: If you have to ask, maybe you shouldn't be here. (L ₂) (IQが高けりゃ分かる) では、「それが分からないということは、あなたたちのIQは低い」という推意前提を示す。
2	Sheldon: I don't know what your odds are in the world as a whole, but as far as the population of this car goes, you're a veritable Mack Daddy. (L ₃) (世間的には違っても、この車内では君が一番のモテ男だ) では、「Leonardが消去法的にモテ男に浮上するほど、他の男達のクオリティが低い」という推意前提を示す。
3	Joey: C'mon, you're going out with the guy! There's gotta be something wrong with him! (L ₁) (モニカとデートするなんて異常だよ) では、「モニカがおかしい状態にある」という推意前提を示す。
5	Danny: Mom, this isn't how we rehearsed this last night. (L ₂) Let's take a little walk, okay. Now, you know as well as I do that. (ゆうべの打ち合わせとは違うな、少し歩こう、分かっていると思うけど) では、「ゆうべ打ち合わせした」という推意前提を示す。
7	Danny: I love you, angel. You too, little ballerina. (L ₂) (愛してるよ、バレリーナさん) では、「Stephanieがバレリーナという変な格好をしている」という推意前提を示す。
8	小賢：我很想知道，她是怎么通过电话然后手势沟通的。(L ₁) (彼女がなぜ、電話で話しているのに、ジャスチャーを使って伝えようとしているのか、その理由を知りたい) では、「変な動きをしている」という指摘で、推意前提を示す。
11	刘梅：什么意思啊，你还想让我再生啊。(L) (どういう意味？また子供を生めというのか?) では、「産みたくない」という意思と嫌悪感の表示で、推意帰結を示している。
12	小雪：怎么都不说话了。(L) (なぜ、何も喋らないのか) では、小雪が、両親が何も言わない奇妙さを指摘しており、推意前提を示している。

表21 「発話の意味の解説」と推意前提、推意帰結

	米国	中国
(D2) 拡大解釈		どちらにも依らない
(D3) 自慢	推意前提	
(D6) 不自然な比喻や例示	推意前提	
(D7) 推意すべきところを表意での解釈	どちらにも依らない	
(D8) 表意は平凡、推意はdirty		推意帰結
(D9) 本音と建前のギャップ	推意帰結	
(D10) 回りくどい言い換え	どちらにも依らない	
(D11) 奇妙な現実の指摘	推意前提	
(D12) 遠回り	推意前提	
(D13) 嫌悪感の表示		推意帰結

これらの例から、推意の中でも推意前提、推意帰結、どちらも使用されていることが分かる。しかし、その中で、米国に多い (D11)「奇妙な現実の指摘」は推意前提を用いた手法であり、中国に多い (D13)「嫌悪感の表示」は、推意帰結が使われた手法である。表21に、米中シットコムの大分類「発話の意味の解説」の小分類項目の発生がどちらに多いかと、それが推意前提の傾向か、推意帰結の傾向か、あるいはどちらにも依らないのかという筆者の考察を示した。

米国シットコムの方が、表意が推意に解説された結果、推意前提が導かれる (D3)「自慢」、(D6)「不自然な比喻や例示」、(D11)「奇妙な現実の指摘」、(D12)「遠回り」に依る傾向にあり、中国シットコムは、表意が推意に解説された結果、推意帰結が導かれる (D8)「表意は平凡、推意は卑猥」、(D13)「嫌悪感の表示」を多く使う傾向にあることが示された。

7. 結 論

分析対象のシットコム6作品では、大分類項目での「発話の意味の解説」の使用は、米中共に3割以上使用される手法であるが、その中で、米国の方が6ポイントほど高く見られた。さらに詳細な小分類項目において、米国では、「自慢」、「不自然な比喻や例示」、「推意すべきところを表意での解釈」、「本音と建前のギャップ」、「回りくどい言い換え」、「奇妙な現実の指摘」、「遠回り」、中国で、「拡大解釈」、「表意は平凡、推意は卑猥」、「嫌悪感の表示」がそれぞれ上回った。

大項目「発話の意味の解説」のラフ・トラックの挿入に関する分析は、関連性理論が示す表意と推意 (推意前提、推意帰結) という概念が適用できる。シットコムは登場人物達の日常会話の設定から面白みを生み出すことを特徴としている。その中で、表意から推意前提や推意帰結を解説させることにより、面白みを感じさせ、ラフ・トラックの挿入ポイントとすることが効果的であると考えられる。

推意による面白みの提起は、示唆して何かをさせようとする推意帰結と、過去や現在に至る過去を想像させることによって、奇妙な状況を示す推意前提、どちらにも依らないパターンがある。実際の日常会話では、推意帰結が使われることが多いが、

シットコムの会話では笑いの挿入ポイントとして推意前提が用いられることが指摘でき、米国シットコムで比較的多く用いられる小分類は推意前提を導き出す傾向にあり、中国シットコムで比較的多く用いられる小分類は推意帰結を導き出す傾向があることが分かった。

参 考 文 献

- [1] Wikipedia : Sitcom, <https://en.wikipedia.org/wiki/Sitcom> (2019.11.05 閲覧).
- [2] Hornby, R.: Sitcom, *The Hudson Review*, SPRING 2015, 68(1), pp.111-117, 2015.
- [3] 百度百科 : 情景喜剧, <https://baike.baidu.com/item/情景喜剧/1528621?fr=aladdin> (2018.12.18 閲覧).
- [4] Encyclopædia Britannica: Situation comedy, <https://www.britannica.com/art/situation-comedy> (2019.11.05 閲覧).
- [5] Searle, J. R.: A taxonomy of illocutionary acts, University of Minnesota Press, pp.344-350, 1975.
- [6] Fitriani, S. S., et al.: Pragmatic perspectives of verbal humor in an American sitcom, *Humanities & Social Sciences Reviews*, 8(3), pp.49-55, 2020.
- [7] 苏陶然 : 中美情景喜剧的叙事策略比较—以《生活大爆炸》和《爱情公寓》为例 (Comparison of narrative strategies in Chinese and American sitcoms—Taking "The Big Bang Theory" and "iPartment" as examples), *新闻研究导刊*, 2019年第6期, pp.98-99, 2019.
- [8] 王凯琴 : 合作原则及关联理论下言语幽默分析—以电视剧《家有儿女》中人物对话为例 (An analysis of verbal humor based on the cooperative principle and relevance theory: Taking the dialogue of the characters in the TV series "Home with Kids" as an example), *青年文学家*, 2020 年第 03 期, p.142, 2020.
- [9] 高木ゆかり : シチュエーション・コメディにおけるギャグの生成と機能—I love Lucy のテキスト分析—, 神戸大学大学院, 博士論文, pp.23-75, 2017.
- [10] 中村太蔵留 : ユーモア理解過程に関する研究—不調和の解消とその神経基盤—, 慶應義塾大学大学院政策メディア研究科, pp.11-42, 2017.
- [11] 茄菀 : 中美情景喜剧的幽默性比较 (The comparison of Chinese American Situation comedy humor), 山西师范大学, pp.25-30, 2016.
- [12] Grandio, M., and Diego, P.: The influence of the American sitcom on the production of TV comedy in Spain, *Scope: An online journal of film and television studies*, University of Nottingham, 2010.
- [13] 賀彩虹 : 笑的解码 (Decodification of laugh), 山東師範大学, pp.1-2, 2011.
- [14] 張雨露 : 探寻中国情景喜剧的未来发展之道 (Explore the future development of Chinese sitcoms), *传媒论坛*, 2019 年 24 期, pp.165-166, 2019.
- [15] 石玉莹 : 探析我国情景喜剧的“苦中作乐”叙事美学表达 (An analysis of the narrative aesthetic expression of "Joy in Suffering" in Chinese sitcoms), *传媒论坛*, 2020 年第 10 期, p.154, 2020.
- [16] Hulu website: the Big Bang Theory, (映像と日本語字幕) : <https://www.happyon.jp/> (2018.12.18 閲覧).
- [17] Youtube : 「爱情公寓」第一季, <https://www.youtube.com/watch?v=YF2ha8CJWv4> (2020.08.20 閲覧).
- [18] Grice, H. P., 清塚邦彦 (訳) : *Studies in the way of word*, Harvard University Press, p.37, 1975.
- [19] Wilson, D., and Sperber, D., 内田聖二ほか (訳) : *Relevance theory - The handbook of pragmatics*, Blackwell, pp.607-632, 2000.
- [20] Yoshimatsu, T.: Designing laughter classification and analysis of generation factors of 'laughter' in the U.S-China sitcom programs, 2019 International Association of Societies of Design Research Conference 2019 Proceedings, 2019, <https://iasdr2019.org/research-papers/p6?>
- [21] Hulu website : Friends, (映像と日本語字幕), <https://www.happyon.jp/> (2019.01.25 閲覧).
- [22] Youtube : Full House the beginning, <https://www.youtube.com/watch?v=GvSMctrfb9A> (2019.11.07 閲覧).
- [23] Youtube : 我爱我家 第一季第 1 集, <https://www.youtube.com/watch?v=E2qfVHKsSzE&list=PLy13jEoAZfgdr3vn-luQliXhwidEb2ICe> (2019.06.25 閲覧).
- [24] Youtube : 家有儿女 第一季第 1 集, <https://www.youtube.com/watch?v=PC3DmhI-3tU> (2019.10.05 閲覧).
- [25] 雨宮俊彦 : 笑いとユーモアの心理学—何が可笑しいの?, ミネルヴァ書房, pp.100-124, 2016.
- [26] 吉松孝 : 「未熟性とのギャップ」により発生するラフ・トラックに関する考察, *日本感性工学会論文誌*, 20(2), pp.171-178, 2020.
- [27] 吉松孝 : 言語的特性が「笑い」生成プロセスに与える影響についての分析—米国・中国のコメディ番組の比較研究デザイン学研究, 67(4), pp.33-42, 2020.

吉松 孝 (学生会員)

九州大学大学院芸術工学府博士後期課程在籍。テレビ番組制作業務に従事。メディア文化、メディアコンテンツを研究テーマとしている。